

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	湿気小委員会		主 査 名：岩前 篤 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (熱環境運営委員会)		委員長名：羽山 広文 主 査 名：尾崎 明仁
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2015 年度： ・ 熱シンポジウムを総括し、WG 活動支援を継続する。 2016 年度： ・ WG 活動支援を継続し、熱シンポジウムの準備を行う。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：		
	主査：岩前 篤 (近畿大学) 幹事：安福 勝 (近畿大学) 委員：佐藤真奈美 (大阪工業大学)、青木 哲 (岐阜工業高等専門学校)、荒井良延 (鹿島建設)、小椋大輔 (京都大学)、尾崎明仁 (京都府立大学)、坂本雄三 (建築研究所)、岸本嘉彦 (室蘭工大)、高田 暁 (神戸大学)、永井久也 (三重大学)、銚井修一 (京都大学)、本間義規 (岩手県立大学)、松岡大介 (ボラス暮し科学研究所)		
設置 WG (WG 名：目的)	①吸放湿性能の効果的利用と予測手法 WG：吸放湿特性の定量化と予測手法の整理・開発 ②文化財の保存と活用のための環境制御 WG：文化財保護の温湿度環境の整理 ③湿気と健康 WG：湿度が人体健康性に与える影響を明確化 ④建築全体の温湿度環境解析 WG：建築物全体の物質移動モデルを構築整理		
2016 年度予算	160,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	(特になし)
講習会	(特になし)
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	(特になし)
大会研究集会	(特になし)
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	(特になし)
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 湿気関連の諸問題の整理とその解決に向けて意見交換を行った。 2. 4 つの WG を設置し、積極的に支援した。 3. 次年度からの新しい WG の設置を検討した。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 成果物の作成、公表などが出来ていない。

## 2016 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A <b>B</b> C      D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>・各分野の WG が着々と次回熱シンポを見据えた活動を行っており、概ね順調である。</p> <p>・さらに、制定から 5 年以上を経過した建築学会環境基準 (AIJES)「湿気物性に関する測定規準・同解説」の改訂を検討するため、新たな WG「建物における湿害の規準 WG」の設置を検討し、設置申請を行った。</p> <p>・成果物の作成、公表などが出来ていない。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。